

令和8年1月14日

関係機関所属長 殿

熊本大学大学院先端科学研究部長
磯部 博志（公印省略）

熊本大学大学院先端科学研究部 土木建築学部門 循環建築工学分野
教授又は准教授候補者の公募について

標記のことについて、本学大学院先端科学研究部 土木建築学部門 循環建築工学分野 教授又は准教授候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関において適任者がおられましたら、下記により貴機関において周知頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 募集職名及び人員 教授又は准教授 1名
2. 採用時期 令和8年8月1日以降のできるだけ早い時期
3. 所 属 熊本大学大学院先端科学研究部 土木建築学部門 循環建築工学分野
4. 専門分野 建築構造分野
5. 担当科目 学部・大学院における建築学に関する講義・演習・実験科目、大学院においては上記専門分野に関する科目、ならびに教養教育科目
6. 応募期限 令和8年2月27日（金）必着
7. 応募資格
 - （1）博士あるいはPh.D.の学位を有する方（採用時まで取得見込みの人も含む）
 - （2）建築構造分野において優れた学術研究業績を有する方
 - （3）循環建築工学領域において新しい分野を切り開くことを旨とする教育・研究に意欲が旺盛な方
 - （4）国内的、国際的な視点から、地域社会や産・官界と連携して活動できる方
 - （5）学内の業務遂行及び運営に積極的な方
 - （6）英語でのコミュニケーションと英語による指導や講義ができる方
 - （7）外国人の場合には、学内諸業務の遂行が可能な日本語運用能力を有する方
8. 労働条件等
 - （1）職務内容 :（雇入れ直後）教授又は准教授としての業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務
 - （2）勤務形態 : 同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす

- (3) 任期の定め : なし
- (4) 試用期間 : 6 か月
- (5) 勤務場所 : (雇入れ直後) 熊本大学黒髪地区
(変更の範囲) 熊本大学の定める範囲
- (6) 時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有
- (7) 賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
- (8) 社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (9) 雇用者 : 国立大学法人熊本大学

9. 提出書類

- (1) 履歴書(様式なし、市販のもので可) 1部
写真を貼付し、連絡先欄にEメールアドレスを記入すること。なお、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間がある場合にはその旨を付記してください。
- (2) 申告書 1部
- (3) 業績リスト 1部
査読付き学術雑誌論文、査読付き国際会議論文、レビュー論文、紀要・総説・解説・研究報告等、学位論文、著書、特許、講演、学会賞などの受賞、外部資金の取得状況、教育業績、その他の業績
- (4) 現在までの研究概要と将来の抱負(1000文字以内) 1部
- (5) 学生の教育に対する抱負(1000文字以内) 1部
- (6) 主要論文の別刷またはコピー(3編以内) 1部
- (7) 所見を求めうる方(3名以内)の氏名・所属・連絡先 1部
連絡先は、Eメールアドレス及び電話番号を記入すること。

上記(2)～(5)の書式は、下記ホームページのテンプレートを使用してください。

http://www.arch.kumamoto-u.ac.jp/koubo/koubo_arch_templateP.docx

- 10. 提出方法 封筒に「教員応募書類(循環建築工学分野)在中」と朱書し、簡易書留で下記書類提出先にご送付ください。

- 11. 選考方法

第一次選考	書類審査	令和8年3月中旬の予定
第二次選考	面接審査	令和8年4月上旬の予定

※面接時の旅費・宿泊等の移動に関する経費は自己負担となります。
なお、状況により遠隔による面接を行う場合があります。

- 12. 書類提出先 熊本大学大学院先端科学研究部 土木建築学部門
教授 川井 敬二
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1

- 13. 問合せ先 熊本大学大学院先端科学研究部 土木建築学部門
教授 友清 衣利子
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1
E-mail: tomokiyo@arch.kumamoto-u.ac.jp

14. その他

- (1) 応募書類に含まれる個人情報、国立大学法人熊本大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。なお、応募書類及び提出物は返却いたしません。

(2) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。詳細はホームページをご覧ください。

<https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/activities>

(3) 選考に当たっては、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

(4) 業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。

(5) 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜教授の場合＞1,000 万円、＜准教授の場合＞800 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct